

クラシックにとどまらないボーダレスな演奏活動を展開し、
カリスマ的人気を誇る石田「組長」と第一線で活躍する演奏家で構成される
弦楽アンサンブルが倉敷市に登場します。

石田組コンサートツアー 2027 倉敷公演

石田組

双雲
石田 泰尚

Solo Violin
石田 泰尚

Program

ラヴェル(松岡あさひ編曲):亡き王女のためのパヴァーヌ/グリーグ:ホルベルク組曲/レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲/
バーバー:弦楽のためのアダージョ/モロス(松岡あさひ編曲):大いなる西部/ヴァンゲリス(松岡あさひ編曲):炎のランナー/レッド・ツェッペリン
(近藤和明編曲):移民の歌/レインボー(近藤和明編曲):スターゲイザー/レインボー(松岡あさひ編曲):キル・ザ・キング



1st Violin
三上 亮



1st Violin
塩田 脩



2nd Violin
佐久間 聡一



2nd Violin
村井 俊朗



2nd Violin
田村 昭博



Viola
中村 洋乃理



Viola
木下 雄介



Viola
小中澤 基道



Cello
西谷 牧人



Cello
清水 陽介



Cello
松尾 美弦



Contrabass
高山 智仁

令和9年1月24日(日) 13:30開場／14:00開演

会場 | 倉敷市民会館 ホール

全席指定

一般 5,000円 | 大学生 以下 500円 |

倉敷市本町 17-1 TEL 086-425-1515

JR倉敷駅(山陽本線)から徒歩20分/下電バス天城線で「市民会館前」停留所で下車(約10分)
※路上駐車や近隣店舗への無断駐車は絶対におやめください。

※当日各500円増
※前売で完売した場合、当日券の販売はありません。
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

ご予約・お問合せ

発売日

会員先行

令和8年10月14日(水)

一般発売

令和8年10月21日(水)

アルスくらしき

TEL 086-434-0010

営業時間/9:00~17:00
休み/土・日・祝日

【インターネット予約】

<https://arsk.jp>



【チケット取扱プレイガイド】

チケットぴあ(Pコード:336-409)
ローソンチケット(Lコード:62620)
e+(イープラス)



ソロ・ヴァイオリン

石田 泰尚

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加する

YAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2020年4月より京都市交響楽団特別各演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミュゼ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年より隔年で開催。EテレクラシックTVで「The Artist パイオリニスト 石田泰尚」として特集が組まれた。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。使用楽器は 1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより2014年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは「石田組長」が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに「組員」が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、ブログレッシブ・ロックまで幅広く各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目されている。単独公演のみならずSUGIZO、鈴木愛理らとのジャン

ルを越えたコラボレーションや組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐にわたる。2018年にNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」で紹介されその熱いステージの模様が大きな反響を呼び、2019年にEテレ「らららクラシック」で特集が組まれた。2022年より毎年30公演以上の全国ツアーを行い結成10周年を迎えた2024年にはNHK「あさイチ」に出演、弦楽アンサンブルでは異例となる日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。最新アルバムは2025年12月にリリースされた「石田組2025・冬」。



1st ヴァイオリン

三上 亮

東京芸術大学音楽学部首席卒業後、アメリカ南メソヂスト大学メドウズ音楽院、ローザンス高等音楽院、メニューイン国際音楽アカデミーで研鑽を積み、安宅賞、日本音楽コンクール第2位、ブリテン国際ヴァイオリンコンクール特別賞、ストラディヴァリウスコンクール第2位など受賞。2013年、巨匠イェルク・デムス氏とデュオリサイタルを開催。その他、NHK-Eテレ「らららクラシック」やNHK-FM「気ままにクラシック」などにも出演。これまでに5枚のCDをリリース。2011年まで札幌交響楽団コンサートマスター。ヴィルタスクワレットのメンバーとしても活躍。2021年より広島交響楽団首席客員コンサートマスター。



2nd ヴァイオリン

村井 俊朗

堀川高校音楽科分校(現堀川音楽高校)、桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学にて研鑽を積み、帰国後、フリーランス奏者として神奈川フィル、東京フィル、東京シティフィル、仙台フィルなど、日本の主要オーケストラにて客演コンサートマスターとして出演する一方、室内楽やレコーディングの分野でも活動している。



ヴァイオリン

木下 雄介

岡山市生まれ。8才で渡英し、マンチェスター・チャーナム音楽学校、英国王立ノーザン音楽大学を卒業。ヴァイオリンとヴァイオラをハリー・ケイウッド、ウェンジョウ・リ、アネット・イッサーリス各氏に師事。

指揮をスティーヴン・スレルフォル、エドワード・ボルトル、保科洋各氏に師事。イギリス各地で演奏活動後、2016年大阪フィルハーモニー交響楽団首席ヴァイオリン奏者に就任し、2021年退団後は国内外のオーケストラ客演奏者、ソリスト、指揮者として活動している。2009年第1回アジア・パシフィック室内楽コンクールセミファイナリスト、2020年第41回神戸東灘区ライオンズクラブ音楽賞受賞。B型、水瓶座。



チェロ

清水 陽介

岐阜県出身。14歳で単身ハンガリーに渡欧。2021年よりハンガリー政府奨学生として、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学にて研鑽を積み、2024年同大学を卒業。2024年ブラチスラバ国際チェロコンクール第1位受賞(スロバキア)、ポッパ国際チェロコンクール第1位受賞(ハンガリー)など、国内外のコンクールで受賞多数。これまでにオリヴェル・ドホナーニ氏、小林研一郎氏、山下一史氏他の指揮者と共に、ソリストとしてハンガリー放送響、スロバキア放送響、新日本フィル、名古屋フィル、大阪フィル等と共に演奏。2025年チャネルビグマリオンデビュー参加アーティスト。現在ソロ、室内楽を中心に国内外で活動中。これまでに林良一、チャパ・オンツァイ、宮田大他各氏に師事。



1st ヴァイオリン

塩田 脩

アメリカ合衆国ボストン生まれ。ジュリアード音楽院プレカレッジを経てニューヨークランド音楽院卒業。2010年に来日し、京都市交響楽団ゲスト首席、兵庫県芸術文化センター管弦楽団ゲストコンサートマスター、小澤征爾音楽塾コンサートマスター、水戸室内管弦楽団などを経て2014年東京都交響楽団に入団。第1ヴァイオリン奏者をつとめる。石田組、トリトン晴れた海のオーケストラ、サイトウキネン・オーケストラメンバー、玉川大学非常勤講師。これまでに潮田益子、田中直子、シャリー・ギブンスの各氏に師事。



2nd ヴァイオリン

田村 昭博

4歳よりヴァイオリンを始める。第45回山口県学生音楽コンクール弦楽器部門第2位(1位なし)。2003年、国立音楽大学ヴァイオリン専攻を卒業。草津国際アカデミーなど数々の音楽祭に参加。2004年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、同団第一ヴァイオリン奏者を務める。傍ら埼玉県立川越女子高等学校や浦和ユースオーケストラ等にてトレーナーを務める。これまでにヴァイオリンを故石井洋之助、石井志都子、野波健彦、荒井雅至、石井啓一郎、扇谷泰朋の各氏に師事。



ヴァイオリン

小中澤 基道

長野県諏訪市に生まれ4歳よりヴァイオリンを始める。洗足学園音楽大学大学院在学中の2007年にヴァイオリンに転向する。同年、原田幸一郎指揮、洗足フィルハーモニーと共に演奏。2008~2010年GMMFSに参加。これまでにヴァイオリンを岡田伸夫氏に、室内楽を岡田伸夫、木越洋、安永徹、市野あゆみの各氏に師事する。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者、Ensemble il vischio、アスチルベ弦楽四重奏団、石田組メンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。



チェロ

松尾 美弦

4歳より大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者である父の近藤浩志からチェロの手ほどきを受ける。2010年東京音楽大学付属高等学校入学、2013年同大学入学。2017年同大学卒業。東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等客演多数。-koike strings-エキストラメンバーとして、相棒Concert・響-2016および2018大阪公演に参加。第24回宮日音楽コンクール弦楽器一般の部第1位、高校・大学一般の部最優秀賞、弦楽器全部門グランプリ受賞。2023年10月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員を務めた。これまでにチェロを近藤浩志、菊田雅治、山崎伸子、山本裕康各氏に師事。



2nd ヴァイオリン

佐久間 聡一

4才からヴァイオリンをはじめ、桐朋学園大卒業。ドイツでも学んだ。新日本フィル契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレーメン客演奏者、広島交響楽団の第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者、客演コンサートマスターとして多彩な活動で活躍の幅を広げている。「その魅力的な音色で聴衆を一つにする力がある」(音楽の友)など誌上でもたびたび注目を浴びている。また、YouTubeの〈愉快なヴァイオリン教室サロン・フリッツ〉では楽しみながら学ぶ番組作りで多くの音楽愛好家から人気を博している。(チャンネル登録者1万9千人超)洗足学園音楽大学非常勤講師。



ヴァイオリン

中村 洋乃理

岡山県笠岡市生まれ。愛知県立芸術大学を経て、東京藝術大学大学院研究科修士課程修了。第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。2011年国際音楽祭「ヤング・ブラハ」に招かれ、ヤング・ブラハ・フェスティバル・カルテットとしてチェコ各地にて演奏。2007年から2014年まで東京フィルハーモニー交響楽団フォアシェプラーを務めた。2015年NHK交響楽団入団、現在次席奏者。ナガノチェンバーオーケストラメンバー、横浜シンフォニエッタシズンメンバー。2019年よりBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」の室内楽コーナーにおいて「The 4 Players Tokyo」のメンバーとして定期的に出演している。これまでにヴァイオリンを江島幹雄、武田由紀、故川崎和憲の各氏に師事。愛知県立芸術大学非常勤講師。



チェロ

西谷 牧人

東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積み、これまでに河野文昭、堤剛、ヤノシュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(〜2008年)。2015年、東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者の清水泰明と自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008~2016年東京藝術大学非常勤講師、2008~2019年東京交響楽団首席チェロ奏者を務める。現在は独立し、パッパからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを越えた演奏活動を展開している。2024年4月より愛知県立芸術大学准教授。



コントラバス

高山 智仁

武蔵野音大卒。練馬新人オーデション最優秀賞受賞。東京ニューシティー管弦楽団と共に。宮内庁桐華楽堂御前演奏会に出演。コントラバスを檜山薫、ジョルティバイ、イルジー・フデッツの各氏に師事。2001年度、アフィニス文化財団の海外研究員に選ばれ、チェコのプラハに留学。日本フィル首席コントラバス奏者を経て九州交響楽団特別首席コントラバス奏者、武蔵野音楽大学専任講師。



石田組公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@ISHIDAGUMIVEVO>

